

## 概観

### 【政治・社会】

・ ツォネフ前国防大臣が贈賄の疑いで逮捕され、抑留されるなど、先月に続いて汚職・組織犯罪の取締りへの積極的な取り組みを示した。ボリスフ首相は、汚職・組織犯罪対策はマクロ経済の安定を図りつつ行うことのできる最大の景気対策と強調した。

・ 増税や過疎地の病院閉鎖等の可能性の提起が行われた影響もあり、ボリスフ首相の支持率は漸減。一方、汚職・組織犯罪取り締まりで脚光を浴びたツヴェタノフ副首相兼内務相（GERB党首）の人気は上昇。

### 【経済】

・ 第1四半期の経済指標は輸出が牽引して前年の第4四半期より上方修正。一方の「隠された財政赤字」については、対GDP比約3%であることが明らかになったが、ユーロゾーン加入を目指すブルガリア政府は財政の引き締めを中心とする経済政策を図っている。

### 【我が国との関係】

・ 草の根・人間の安全保障無償資金協力3件の供与式が実施された。

この月報はブルガリア各種メディアの報道ぶり等を取りまとめたものであり、在ブルガリア日本大使館の意見や判断を反映するものではありません。

## 政治・社会

### 1. 内政

#### ◆ツォネフ前国防大臣等を逮捕

2日、ツォネフ前国防大臣が贈賄、判事1名が収賄、元財務省官房長がその仲介の容疑で逮捕された。ツォネフ前国防大臣は国防省の光ファイバー敷設工事の受注に関し収賄の疑いで身辺捜査が行われていたが、捜査を中断するように判事に依頼、6万ユーロを渡していた疑い。

#### ◆組織犯罪の取り締まり

▶ツヴェタノフ副首相兼内相は6日、約300名の札付きの犯罪者のうち83名が既に逮捕されており、現在131名の組織犯罪の捜査を進めると発表した。

▶16日、ボリスフ首相は、国民議会で政府の経済危機対策について問われた際、安定したマクロ経済状況を維持するために景気対策がとれない状

況下では、EU資金の活用、汚職の撲滅が最良の対策である旨述べた。

#### ◆医師のゼネスト（7日）

全国の病院の医師が医療保険の支払いの遅れ、過疎地の病院閉鎖等に抗議してストライキを実施した。政府は、医療福祉の合理化を図るため、過疎地の病院を閉鎖する方針を発表していた。

#### ◆世論調査

▶Center for Analysis and Marketing社調べによると、ボリスフ首相の支持率は、昨年10月には63.6%だったのが、今年4月には57.6%に低下した。同社アナリストは、この人気の漸減の原因として、景気対策を控えてマクロ経済の安定を図る経済政策への不満をあげている。昨年秋には将来は現在よりも良くなっている、と答えて

いたのは30.8%だったが、4月には18%に低下した。

▶一方、汚職・組織犯罪の摘発で脚光を浴びたツヴェタノフ副首相兼内相は52%から56.4%に上昇、同様にヴェルチェフ検事総長の支持率も半年で5ポイントアップの65.2%となった。

▶3月のジャンコフ財務大臣とパルヴァノフ大統領間の確執は、両者の支持率低下を招いた。大統領を支持しない、は54.8%となっている。

## 2. 外政

### ◆ボリスフ首相：シリア訪問

▶ムラデノフ外相、トライコフ経済エネルギー相ら50名以上が同行した。「ボ」首相は、首脳会談の他、現地のブルガリア人らと会談した。

▶「ボ」首相の滞在中、1970・80年代のシ

## 経済

### 1. マクロ経済

#### ◆2010年第1四半期のGDP

▶ブルガリア国立統計研究所は、2010年第1四半期のGDPは、2009年第4四半期の減少率(マイナス5.4%)よりは緩やかとなったものの、139億8200万レバとなり(前年度同期比マイナス4%)、EU加盟諸国ではラトビア、ルーマニアに次いでワースト3位となったと発表した。最も落ち込み幅が大きい分野は農業であり、3.4%減少した。

▶また、第1四半期の輸出はヨーロッパ経済の持ち直しもあり、2009年第4四半期に比べ7.6%の増加となった。

#### ◆財政赤字：16億7千万レバに

▶3月末時点での本年度財政赤字は16億6900万レバ(対GDP比2.4%)に達したことが財務省より発表された。3月だけで2億7090万レバの財政赤字であるが、1月、2月の財政赤字額と比較すると、赤字幅は減少した。

▶これとの関連でジャンコフ財務大臣は、4月の財政運営でバランスを計図り、そのデータを5月末に公表する旨述べた。

リアの対ブルガリア負債(総額約7500万米ドル)の約25%に当たる1700万米ドルの返済について合意するとともに、シリアを通過する国際運輸協定及び教育・スポーツ分野での協力に関する文書に署名した。

### ◆ボリスフ首相：セルビア訪問(26日)

▶首脳会談では、組織犯罪に関する両国の警察・税関機関同志の共同コンタクトセンター設置に関する合意が署名された。また、両首脳は、両国間の高速道路網整備(ソフィア・ニシュ間)及び国境ポイントの増設についても協議した。

#### ◆第1四半期：失業率減少、平均所得上昇

▶ブルガリア国立統計研究所の発表によると、第1四半期の失業者数は前年度同期比2.9%の減少となった。金融危機以降、本年2月に最高値(10.26%)を記録したが、3月は10.14%と減少した。雇用が増加した要因は季節労働者の採用が増えたことによるとみられている。

▶1ヶ月当たりの平均所得は2010年第1四半期の値から2.1%増加し、636レバに達した。

#### ◆経済危機対策(政府案)

▶政府は1日、⌘国営企業の民営化(2億レバ)、⌘温室効果ガス排出権の売却(3億レバ)、⌘10%の国家予算削減(4億5千万レバ)等からなる経済危機対策案を国民議会に上程した。

▶さらに政府は4月中～下旬にかけて、増税(奢侈税・ギャンブル税の創設、消費税増税)を検討すると発表した。

## 2. 産業

### ◆3月の経済成長：前月比21%上昇

▶ブルガリア国立統計研究所のレポートによると、3月の経済成長は前月比21%上昇、右に伴い、輸出も増加する見込みである。輸出高は2010年第1四半期において、既に59億レバを超えており前年同期比で12.2%上昇した。

▶しかし、小売業界及び建設業界は未だ回復していない。輸入についても第1四半期においては75億レバ減少しており、対前年同期比で4.9%の落ち込みである。

## 2. その他

### ◆ベレーネ原子力発電所

27日、マヤ・フリストヴァ経済・エネルギー・観光次官は、ベレーネ原子力発電所建設にかかるロシアからの20億ユーロ融資を正式に辞退した。政府は欧州諸国の投資家を見つけるまでは同発電所の建設を決定しない見通し。

---

### 我が国との関係

#### ◆JOC竹田会長のブルガリア訪問

16～17日、竹田JOC会長がブルガリアを訪問、ネイコフ・スポーツ大臣、コスタディノヴァBOC会長と意見交換を行った。スポーツ大臣表敬では、JOC-BOC間で2月に締結された協定に基づいて今後具体的に新体操や柔道、空手等の武道分野でのコーチ協力の可能性が話題となった。

#### ▶草の根・人間の安全保障無償資金協力

▶20日、ブルガス市の聖キリル・メトディオス総合学校で、日本政府が供与した30,264ユーロを原資に実施された、暖房効率を上げるための窓枠改修プロジェクトの供与式が閉鎖された。

▶また翌21日にはプリモルスコ市ヤスナ・ボリャナ村の身体障害者老人ホームの厨房改修プロジェクト(41,424ユーロ)の供与式が開催された。

---

▶さらに28日にはビディン市のオテツ・パイシイ小学校にて、子供達にとって不衛生・危険な状況だった衛生施設の改修プロジェクト(40,054ユーロ)の供与式が開催された。

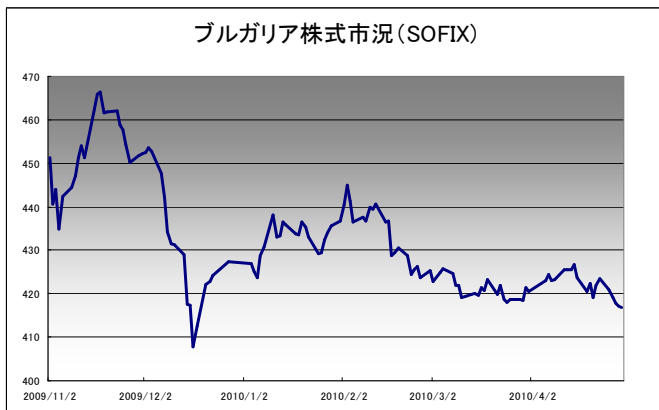
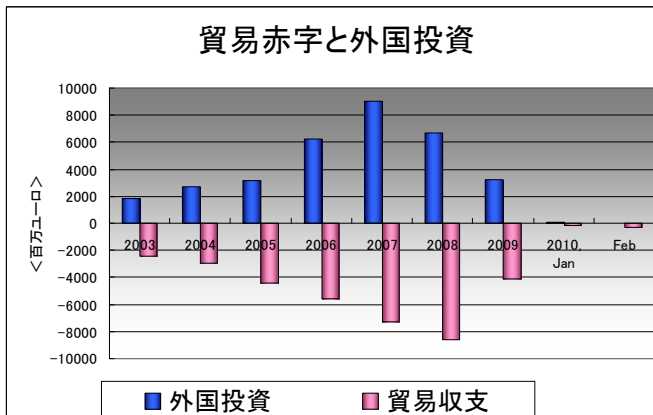
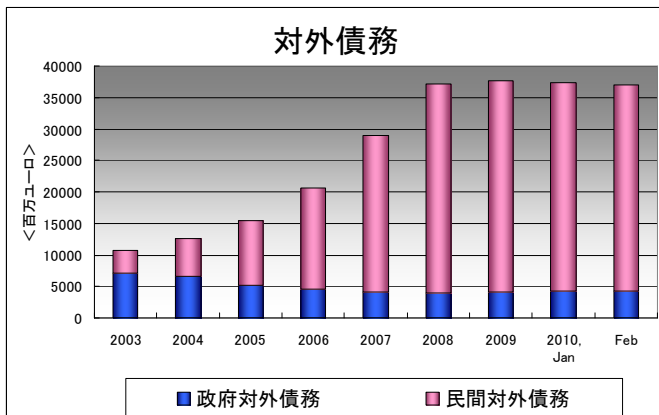
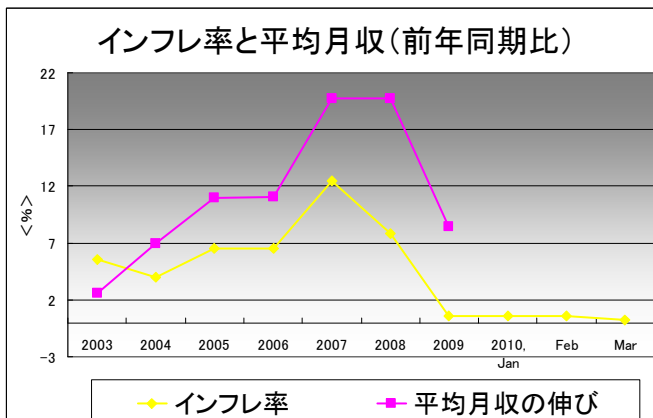
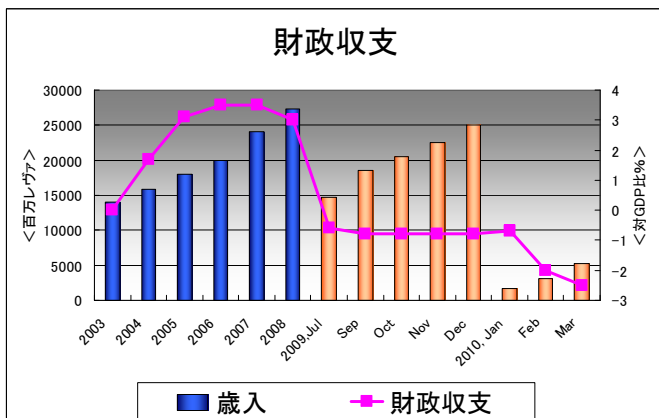
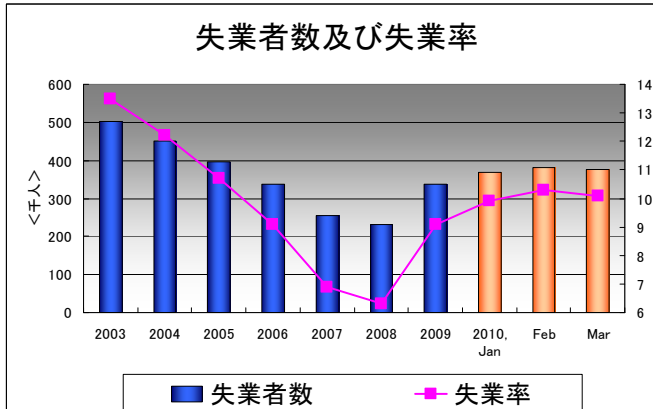
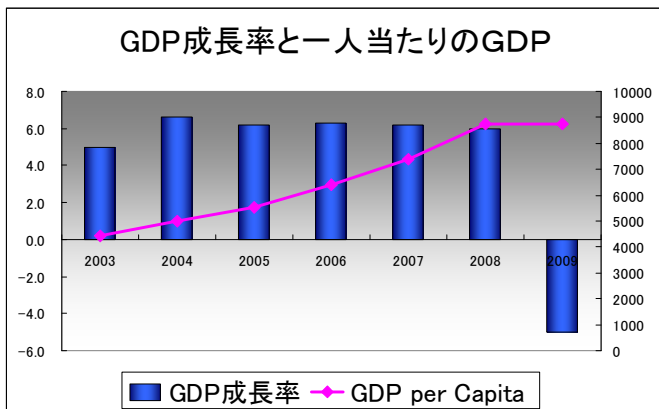
▶1998年の開始以来、ブルガリアにおける本件事業は累計76プロジェクトを数え、総額で約300万ユーロが拠出されている。

## ブルガリア内政・外交の動き（4月）

在ブルガリア大使館

1（木）	
2（金）	●ツォネフ前国防大臣が贈賄の疑いで逮捕
3（土）	
4（日）	
5（月）	☆トライコフ経済エネルギー相：米国訪問。米国国務省、エネルギー省及び商務省、世界銀行等を訪問。（～7日）
6（火）	
7（水）	
8（木）	☆ボリソフ首相：プラハ訪問。オバマ米大統領の中・東欧11カ国の首脳との実務夕食会に出席。
9（金）	
10（土）	☆ボリソフ首相：スペイン非公式訪問。スペイン人民党（右派）アスナル代表（前スペイン首相）と会談。
11（日）	
12（月）	☆ムラデノフ外相：ギリシャ訪問。ライコフ外務次官が同行。ドゥルツァス外相筆頭副大臣等と会談。 ☆ツァチェヴァ国民議会議長及び議員団：ポルトガル公式訪問。（～13日）
13（火）	
14（水）	☆コソル・クロアチア首相：ブルガリア訪問。
15（木）	☆ムラデノフ外相：ノルウェー訪問。（～17日）
16（金）	
17（土）	
18（日）	☆パルヴァノフ大統領、ムラデノフ外相：カチンスキ・ポーランド大統領の葬儀出席をキャンセル（アイスランドの火山粉塵の影響）
19（月）	☆ジュキッチ・デヤノビッチ・セルビア国会議長：ブルガリア訪問。
20（火）	☆ムラデノフ外相：スロバキア訪問（アトランティッククラブ主催の国際会合出席）。 ☆リュツカノフ外務次官：ルーマニア外務次官等とシェンゲン領域加入に関する協議を実施
21（水）	●アナ＝マリア・ボリソヴァ氏、保健大臣に就任（ナネフ前大臣は3月に辞任） ☆クラスニッチ・コソボ議会議長が率いる議員団：ブルガリア公式訪問。
22（木）	☆ムラデノフ外相：NATO非公式外相会合出席（エストニア）
23（金）	
24（土）	☆ボリソフ首相：シリア公式訪問（～25日）。
25（日）	
26（月）	☆ボリソフ首相：セルビア公式訪問。 ☆ムラデノフ外相：EU外務理事会出席（於：ルクセンブルク）
27（火）	☆スタブリデス欧州連合軍最高司令官：ブルガリア訪問。
28（水）	☆ムラデノフ外相：米国訪問。米国大西洋協議会（外交政策シンクタンク）年次夕食会に出席。29日、CSIS（戦略国際問題研究所）にて講演。
29（木）	☆スタニシェフ社会党党首（前首相）、欧州社会党グループの「外交政策ネットワーク」議長に就任
30（金）	

# ブルガリア経済指標 (2010年4月)



出所：統計局、中銀、ソフィア証券取引所

## ブルガリア主要経済指標

### <GDP成長率と一人当たりのGDP>

	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009
GDP成長率	5.0	6.6	6.2	6.3	6.2	6.0	-5.0
GDP per Capita	4426	4989	5529	6411	7379	8753	8735

### <失業者数及び失業率>

	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	Jan	Feb	Mar
失業者数	501	451	397	338	256	232	338	367	380	376	376
失業率	13.5	12.2	10.7	9.1	6.9	6.3	9.1	9.9	10.3	10.1	10.1

### <財政収支>

	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	Jul	Sep	Oct	Nov	Dec	2010	Jan	Feb	Mar
歳入	14070	15855	17991	20023	24063	27317	14751	18525	20543	22476	25022	22476	25022	1749	3098	5171	
財政収支	0	1.7	3.1	3.5	3.5	3	-0.6	-0.8	-0.8	-0.8	-0.8	-0.8	-0.8	-0.7	-2.0	-2.5	

### <インフレ率と平均月収>

	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	Jan	Feb	Mar
インフレ率	5.6	4	6.5	6.5	12.5	7.8	0.6	0.6	0.6	0.6	0.2
平均月収の伸び	2.6	7	11	11.1	19.7	19.7	8.4				

### <対外債務>

	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	Jan	Feb
政府対外債務	7074	6585	5198	4547	4092	3902	4159	4221	4241	4241
民間対外債務	3592	6073	10309	16144	24925	33198	33547	33070	32771.0	

### <貿易赤字と外国投資>

	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	Jan	Feb
外国投資	1851	2736	3152	6222	9052	6697	3213	52.9	28	28
貿易収支	-2426	-2994	-4410	-5562	-7245	-8597	-4103	-173.7	-310.6	